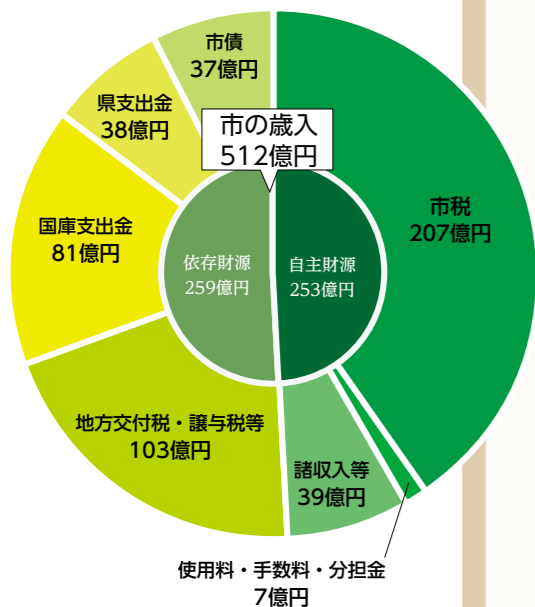


家計簿

どんな収入があったの？



銀行からの借入れが少し増えてしまったわ。これからは、借入れを少なくしていきたいわ



給与収入が減ってしまったわね。少しでも収入が増える取り組みを考えていきたいですね



平成31年4月～令和2年3月の月平均家計

収入 (前年度との比較)

給与	397,700円 (-2,100円)
・基本給	196,100円 (-5,900円)
・諸手当	201,600円 (+3,800円)
貸したお金の返済金	900円 (+100円)
銀行からの借入れ	17,400円 (+2,000円)
収入合計	416,000円

市民一人あたりの貯金残高*

35,900円 (-6,000円)

※令和2年4月1日現在の住民基本台帳の人口(142,618人)をもとに算出。

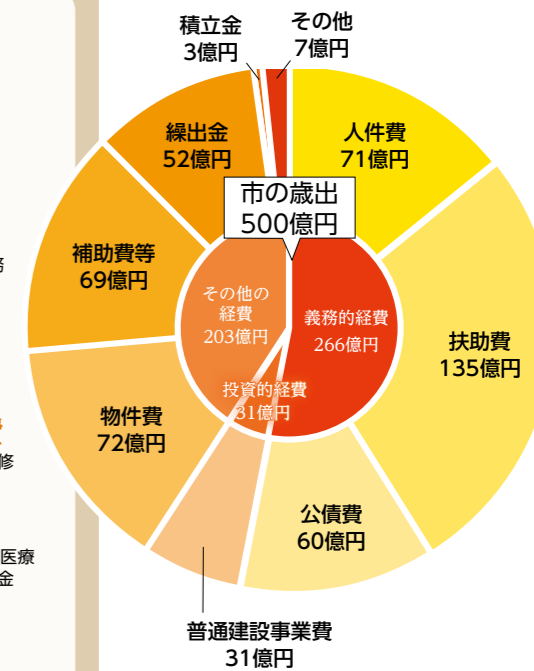
支出 (前年度との比較)

生活費計	256,400円 (+5,300円)
・食費	57,900円 (-600円)
・光熱費や通信費	58,600円 (+2,800円)
・家・車・家電の修理	30,200円 (-600円)
・家族の医療費	109,700円 (+3,700円)
家族への仕送り	97,800円 (-3,600円)
ローンの返済	48,700円 (-1,900円)
貯金	2,600円 (-1,100円)
支出合計	405,500円 (-1,300円)
差額(収入-支出)	10,500円 (+1,300円)

市民一人あたりのローン残高*

391,000円 (-12,000円)

どんな支出があったの？



去年と比べると家族の医療費が増えているわね。これからも増えそうだから切りつめるところを考えないといけないわ



市民一人あたりの借金額は昨年度よりも減っていますね！



こが家の家計簿とは

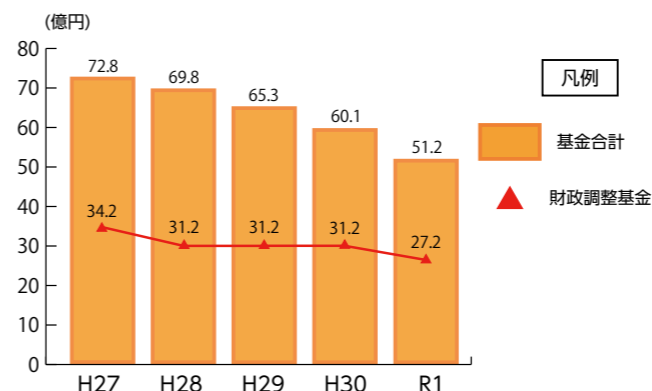
市の令和元年度一般会計決算を1年間の収入が500万円(1カ月あたりの収入が41万6,000円)の「こが家の家計簿」に例えて説明します

【問】 ☎財政課Tel.92-3111

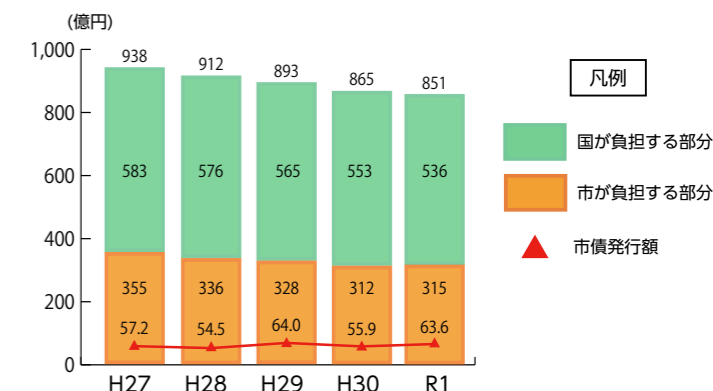
【家族(7人)の構成】

- ・毎日忙しく働くお父さんとお母さん
- ・一人暮らしをしている大学生のお姉ちゃん
- ・市内の小学校に楽しく通う僕と妹
- ・いつも優しいおじいちゃんとおばあちゃん

基金(貯金)残高



借入金(借金)残高 ※特別会計・水道事業会計を含む。



令和元年度決算に基づく 特別会計・水道事業会計

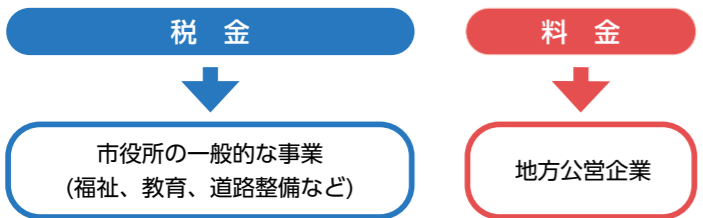
特別会計の概要

特別会計(13会計)の決算額を合計すると、歳入が330億7,787万円で前年度と比べて9億5,187万9千円(2.8%)の減少となり、歳出が327億239万4千円で前年度と比べて8億2,667万1千円(2.5%)の減少となりました。

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引額(A-B)
国民健康保険(事業勘定)	147億1,540万1千円	147億1,540万1千円	0円
国民健康保険(直診勘定)	5,953万1千円	5,903万9千円	49万2千円
古河福祉の森診療所	1億2,907万5千円	1億2,806万2千円	101万3千円
後期高齢者医療	14億414万2千円	13億9,653万3千円	760万9千円
介護保険(保険事業勘定)	106億984万3千円	104億1,541万7千円	1億9,442万6千円
介護保険(介護サービス事業勘定)	1,241万3千円	1,205万7千円	35万6千円
公共下水道事業	33億8,131万4千円	33億5,169万円	2,962万4千円
農業集落排水事業	6億9,487万9千円	6億7,129万7千円	2,358万2千円
ゴルフ場事業	1億2,027万1千円	1億1,369万3千円	657万8千円
古河駅東部土地区画整理事業	11億2,762万7千円	10億1,593万9千円	1億1,168万8千円
片田南西部土地区画整理事業	9万1千円	9万1千円	0円
公共用地先行取得	8,645万5千円	8,645万5千円	0円
仁連地区新産業用地開発事業	7億3,682万8千円	7億3,672万円	10万8千円
合計	330億7,787万円	327億239万4千円	3億7,547万6千円

水道事業会計の概要

水道事業は法律で「地方公営企業」と位置付けされており、事業に必要な経費は、原則として水道料金などの収入で賄う「独立採算の原則」に基づき運営されています。



水道水をつくるための予算(消費税込み)	
収益的収入(A)	26億4,620万1千円
収益的支出(B)	21億3,863万6千円
収支差額(A-B)	5億756万5千円
水道施設を整備するための予算(消費税込み)	
資本的収入(A)	11億5,062万2千円
資本的支出(B)	25億7,044万9千円
収支差額(A-B)	-14億1,982万7千円

【問】水道課(三和浄水場) Tel 76-3780

事業評価を実施しました

令和元年度に実施した市の事業を対象に事業評価を実施しました。事業評価は、事業の目的や効果の達成状況を基に指標を設定して評価を行ったものです。

評価結果は、市ホームページおよび右記の市内各施設で閲覧できます。

【問】企画課 Tel 92-3111

事業評価書を閲覧できる施設

- 古河地区：④市民総合窓口室、古河東公民館、中田公民館、はなももプラザ、いちようプラザ
- 総和地区：⑥企画課、ユースセンター総和、とねミドリ館
- 三和地区：③市民総合窓口室、燦SUN館、コスモスプラザ(庁舎3階)

令和元年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

実質赤字比率

一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

将来負担比率

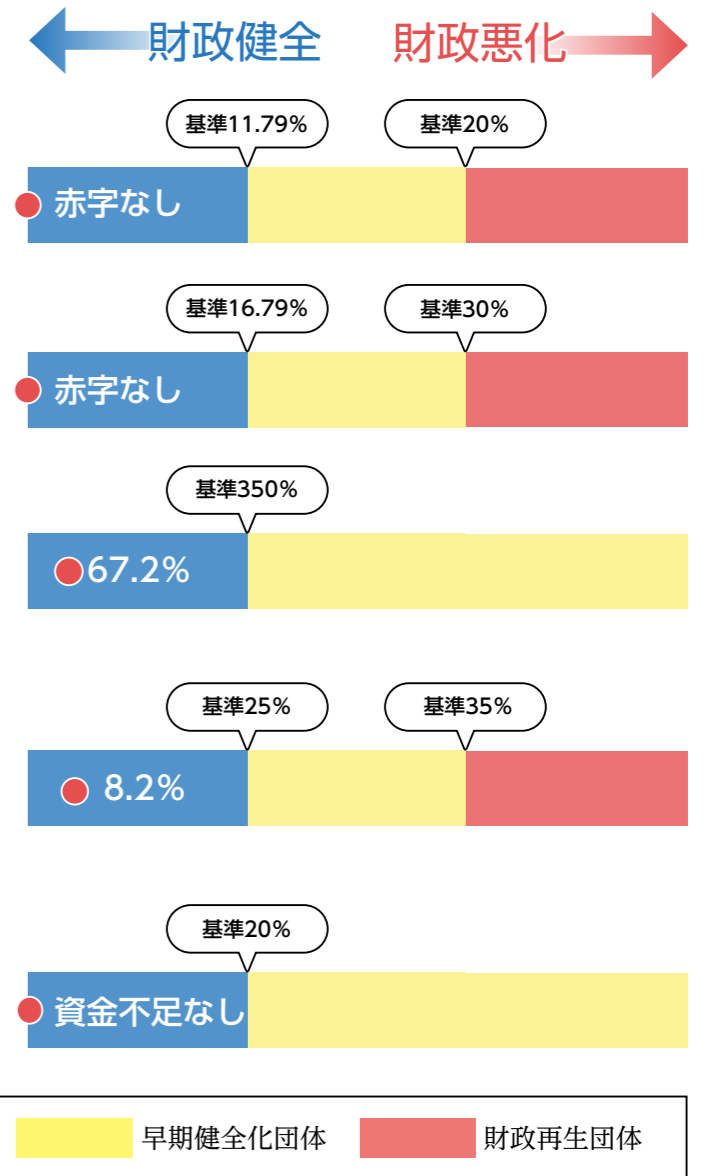
一般会計等が抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

実質公債費比率

一般会計等の実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

資金不足比率

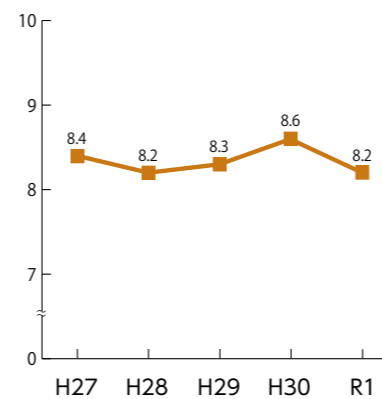
各公営企業会計の資金不足額が、料金収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです



【令和元年度決算に基づく現状値】

市の財政状況を表す現状値は、全て国の基準で「健全」とされる範囲内です。今後も、将来にわたって持続可能な財政運営を図っていきます。

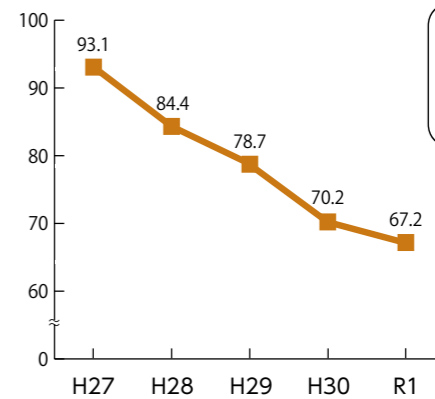
▶実質公債費比率



市の実質的な借入返済額は減少傾向にあり、今後も減少する見込みです



▶将来負担比率



返済により負債が減少しているため、将来負担する負債の割合も減少してきています

